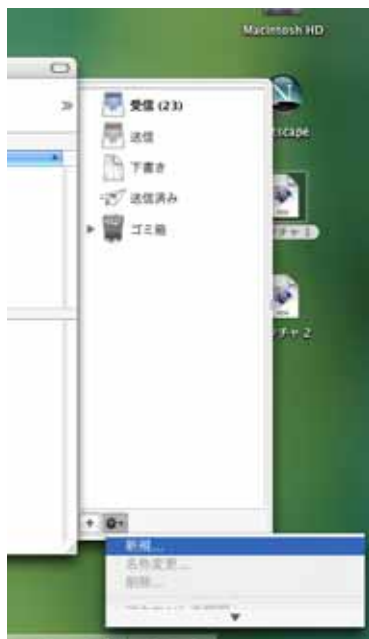
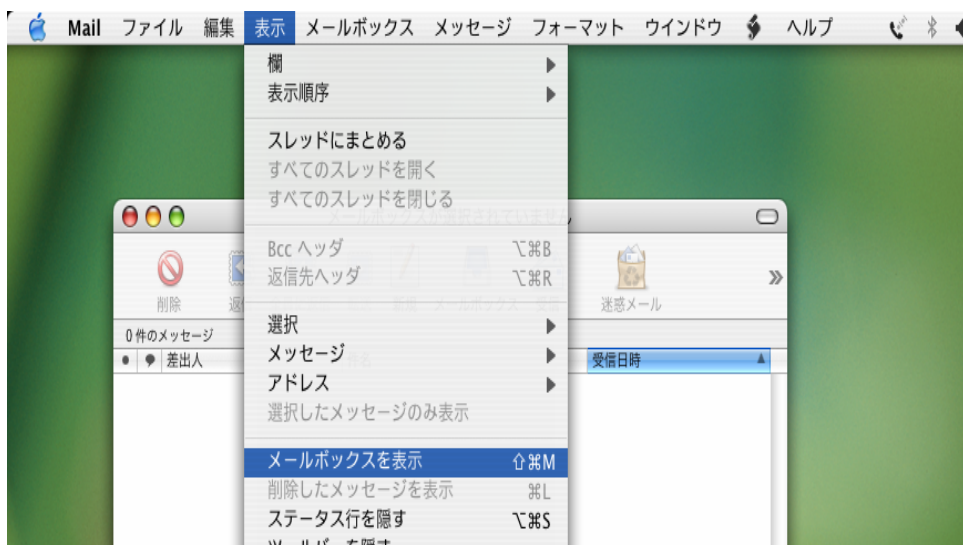


Mac OS X に標準で付いてくるメールソフトでの spam メール振り分け設定

Step.1 : spam メールを入れるフォルダーを作る

「表示」 - 「メールボックスを表示」を選択して
メールソフトの右側にメールボックス一覧を表示させます。



メールボックスの名前を“ SPAM ”に設定する。

メールボックス一覧の下にあるボタンを
押す。



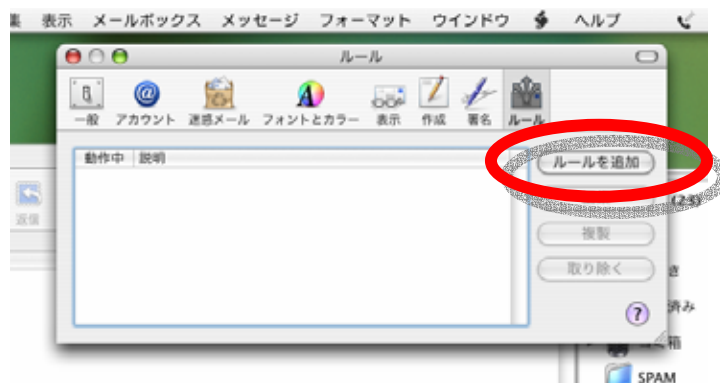
SPAM フォルダーができると上図のように表示される。

Step.2 : フィルターの設定をする。

「Mail」 - 「環境設定」を選択する



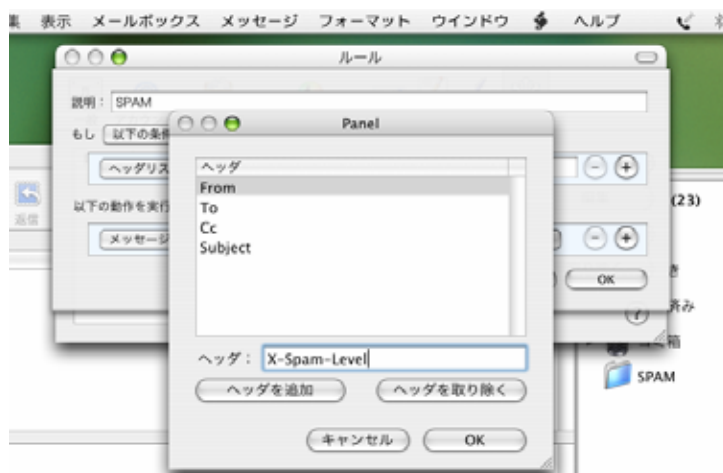
新しくウィンドウが開くので、一番右の「ルール」を選択



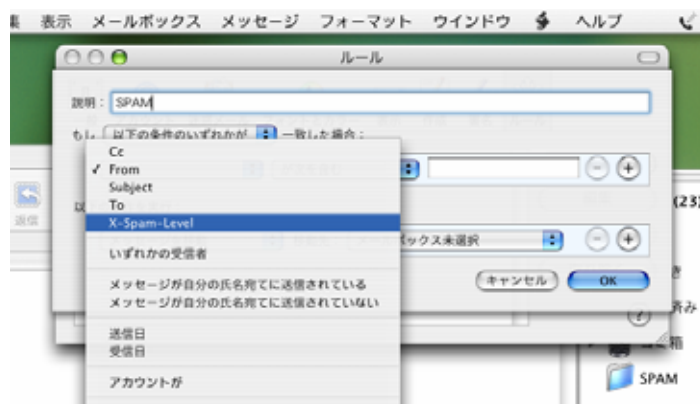
「ルールを追加」ボタンを押す

説明 : SPAM を入力

[以下の条件・・・]のボタンを押し、ヘッダ欄に
X-Spam-Level (大文字小文字に注意!)を入力して
「ヘッダを追加」ボタンを押す。



すると、「もし」欄の下の選択肢で、X-Spam-Level が現れるのでこれを選択。

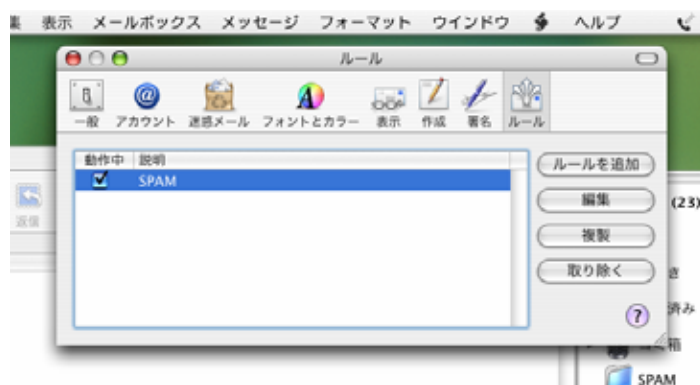


「が次を含む」の次の欄には ***** (*マークを5つ) 入れる。

さらに、「以下の動作を実行」では、
メッセージを移動、 移動先：SPAM を選択

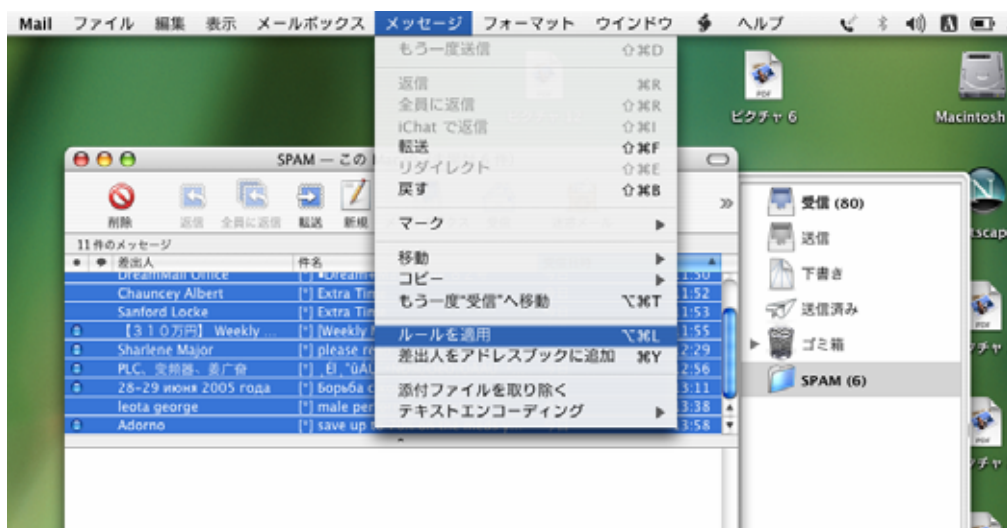


OK を押すと、以下の画面になり設定終了



Step.3 : フィルターの適用

既に届いているメールに対してフィルター操作を行う場合には、
その操作を適用したいメールを選択した後に、
「メッセージ」から、「ルールを適用」を選択



すると、自動的に spam メールの可能性の高いメールが SPAM フォルダーに移動します。

Step.4 : 今後

将来的には、spam メールと判断した際、題名欄に[*]を入れることを検討しています。
その場合には以下の設定でメールを自動的に移動させることもできます。

